
日本産業洗浄協議会 メールマガジン 第 87 号

第 87 号をお送り致します。

コロナは第 5 波が沈静化して、2021 洗浄総合展も開催に向けて準備を加速しております。ただし、なぜ沈静化してきたのかが分かっておらず、油断はできません。

皆様、くれぐれもご用心ください。

今月は、(1) トピックス：

【2021 洗浄総合展 入場登録開始】

【第 24 回洗浄技術フォーラム聴講募集開始】

【第 7 回洗浄ビジネスセミナー聴講募集開始】

(2) 連載：東西対決 JR 環状線「新今宿駅」

(3) 投稿：『初孫』～（ペンネーム：SATTOSSAN）

*このメールは、日本産業洗浄協議会の各種イベントでお預かりしたメールアドレス宛にお送りしています。不要な方は、末尾にてその旨ご返信下さい。

.....
(1) トピックス
.....

【2021 洗浄総合展 入場登録開始】

入場登録が開始されましたのでご連絡いたします。

<https://autumnfair.nikkan.co.jp/>

また、洗浄総合展の公式サイトからもリンクで飛べるようにしております。

<https://biz.nikkan.co.jp/eve/senjyo/>

【第 24 回洗浄技術フォーラム聴講募集開始】

2021 洗浄総合展 2 日目に洗浄技術フォーラムを開催いたします。

開催日時：2021年12月 2日(木) 10:00～17:00

会場：東京ビッグサイト 会議棟605号室, 606号室 定員:100名

対象：今そして将来の洗浄を考える洗浄ユーザー、研究者、設計者、技術者

洗浄剤・洗浄機及びその周辺機メーカーの管理者、開発者、技術者

有力な商材・技術を求める商社・販売店の皆様

詳細および聴講申し込みはホームページから

<http://www.jicc.org/event/forum.html>

【第 7 回洗浄ビジネスセミナー聴講募集開始】

2021 洗浄総合展 1 日目に洗浄技術フォーラムを開催いたします。

開催日時：2021年12月 1日(木) 13:00～15:00

会場：東京ビッグサイト 西-第1ホール「2021 洗浄総合展」内 セミナー会場

定員：50名、(申込み順、定員になり次第締め切ります)

対象：洗浄剤・洗浄機・関連機器を販売されている商社・販売店の方々

特展：JICC 出展企業の特徴がひと目でわかる「JICC 出展企業の特徴一覧」を呈します。

詳細および聴講申し込みはホームページから

<http://www.jicc.org/event/seminar.html>

.....
(2)連載:東西対決 JR 環状線「新今宮駅」(ペンネーム: MJ)
.....

新今宮駅(しんいまみやえき)は大阪市浪速区と西成区の境界上にあり、JR 西日本・南海電気鉄道の駅です。JR 西日本の駅番号は大阪環状線が JR-O19、関西本線(大和路線)が JR-Q19。JR 西日本の駅シンボルフラワーは「ハギ」です。

大阪の主要観光地である新世界に近く、発車メロディはドヴォルザーク作曲の『交響曲第9番「新世界より」』(第四楽章)が使用されています。これは当駅の近くにある新世界にちなんで選ばれました。

新今宮は多様性と包容性に溢れる街です。1964年に駅名として登場した新今宮は、地名としてはまだまだ新参ですが、古代からつづく土地の記憶が、文化や風景を育ててきました。

古代より続く弱者救済の四天王寺の慈悲、行政機関による福祉施策、民間団体の手による支援といった数多くのやさしさが、この地に注ぎ込まれてきました。



近世より木賃宿として様々な人を迎え入れてきたこの地の包容力は、簡易宿所・ホテル・ゲストハウスへと移り変わりました。

最後に、紀州街道沿いという交通の便のよさは、4つの鉄道会社がアクセスする至極交通の便がよい街となりました。

新今宮は、古代より続く土地の記憶が脈々と現代に受け継がれています。

今回は、今宮駅を予定しています。お楽しみに。

.....
(3) JICC クルーによるリレーコラム Vol.18

~『初孫』~ (ペンネーム: SATTOSSAN)
.....

昨年10月初孫(男の子)が誕生した。嬉しい気持ちもあったが、自分が爺さんになった感覚はどうしても湧かない。もちろん血の繋がった孫とは頭ではわかっているものの不思議な感覚であった。その孫も日に日に成長し今では独り歩きができるまでになった。コロナの環境下会うこともままならず、もっぱらTV電話という文明の利器で様子を覗いている次第である。長女の子であるが、婿のお父さんは「ダデー」と呼ぶことになったらしい。で私はということになり、候補は①爺ちゃん、②爺や、③お爺ちゃん・・・といろいろあがったが、何か違う。まだ爺さんと呼ばれる歳ではない!と思い、英語で SATOSSANN と呼んでもらうことにした。私の名前は「聡(さとる)」そこから取って、日本語読みで「サトッサン」である。「友達感覚で付き合いおうね」と孫に話したことを覚えている。分かるわけないか。

それはさておき、自分の子供との付き合いを振り返ってみた。そこで本日のメインテーマ「親の夢、子に強いるべからず」について話すこととする。親になって分かったことそれは「子供は異なる人格を持った生物」ということである。親の思い通りになんてならないってことだ。「なん

でお父さんやお母さんの言うことが聞けないんだ！」と何度叫んだことか。言うことを聞くのが子供という生物だという勝手な思い込みが、この悲劇の原因であった。そもそもそんなことを考えていた自分が恥ずかしい。子供も一人の人間であり親のイエスマンになるために生を受けた生物ではないのだ。であるならば共存共栄の対象と考えるべきだろう。今はそう考えるようにしている。昔、娘にはピアノ、息子は野球をやらせた。典型的なバカ親！親だけが子に成長の機会を与えることができる存在と勘違いしていたのだ。小さな子供にとって親は絶対的存在。怖い。たいてい従う。今思えば、何という暴君。チャンスを見つけ、自らつかむことを教えても、具体的なことは本人に選ばせることが正解だと反省だ。

先日、ドラフト会議の中継を観て、ふと心配になった。親からもらった仮の夢(プロ野球選手になるという夢)を唯一の自らの夢と信じ、迷うことなく突き進んできたのではないだろうか。すべてのことを野球のために犠牲にするようなことはなかったのだろうかなんて思ってしまう。自らの夢を実現するためにプロの世界に入るのであれば良いけど……。

決して親の夢を叶えるためでなければ良いなど。待っているのは弱肉強食の実力だけの世界である。自分の夢であれば耐えられる。頑張れる。

初孫の誕生は家族を明るくした。これからは孫の明るさに頼ることなく空気のように孫を見つめたい。